

カーボンニュートラルへの挑戦<③>



環境負荷低減とS B T達成へ

マンノ（堺市）

マンノは、輸送用機械器具の部品加工・組立を通じ、「お客様の立場で作る確かな製品」を提供している。地球環境への配慮を最も重要な経営課題と位置づけ、脱炭素経営を積極的に推進する。

同社の温室効果ガス排出量について、パリ協定の「気温上昇を1.5度に抑える目標」と整合する削減目標を設定し、S B T認定(※1)を取得した。Scope 1・2(※2)排出量についても、2035年までに2023年度比で63%削減することを目指している。

同社の宮下清昭代表取締役は、「今後もエネルギー効率の向上や、供給網全体を見据えた環境負荷の低いモノづくりを追求し、持続可能な未来の実現に貢献したい」と話す。

※1 科学的根拠に基づき企業が設定する温室効果ガス削減目標の認定制度。※2 Scope 1は自社の設備などからの直接排出、Scope2は購入した電力・熱などによる間接排出した温室効果ガス。
(堺商工会議所)

詳細はこちら▶

